担当者スポット



進歩する人工知能

教育研修部　山本　洋治
YAMAMOTO　YOJI

今年の3月に囲碁のコンピュータソフトが世界最高峰の棋士に勝利。チェスのソフトが当時の世界一に勝利したのは1997年。囲碁はプロ棋士と互角に戦えるのはずっと先と思われていましたが、全ての指し手を検索する手法に代わり、局面を形で形勢判断する手法が進歩し、その予想はあっさり覆りました。私が趣味としている将棋はというと、十年位前に買った将棋ソフトは十分強く、5年位前に買ったソフトにはかないません。最新のソフトは数年前から将棋のプロ棋士と互角に戦っており、当然の結果ですが、ソフトと対戦するのが億劫になり、将棋から足が遠のいてしまいます。仕事では、コンピュータは主にデータ整理を担当しています。整理した結果をもとに、企画を練り判断するのは人間の役割ですが、そのうち、コンピュータ自らが解析した結果をもとに企画立案し、それを人間が実行する。その結果をコンピュータがチェックして人間に修正の指示をすることが当たり前になるのではと思ってしまいます。労力だけでなく、知力も省くオートメーションとならないように、頭と体を鍛えたいと思います。

編集後記

夏号では、当センターの昨年度の事業報告のほか、電子マニフェスト事業、教育研修事業の今年度の取組等を掲載いたしました。特に電子マニフェストについては、さらなる普及に向け導入実務研修会等を多く開催いたしますので、是非ご参加ください。

コラムは長野都市ガス株式会社の塩入様に、連載講義は「廃棄物対策から効率的な資源管理」について前国際連合地域開発センターの小野川様に、引き続きご執筆をいただきました(2/4回目)。「産廃クローズアップ」は、株式会社リーテムに電気電子廃棄物のリサイクルと環境教育等の取組について、「行政のうごき」は、石川県に電子マニフェスト普及状況や産業廃棄物の減量化推進等の取組についてご執筆いただきました。また、電子マニフェストの「ユーザ事例紹介」は、株式会社リサイクルクリーンに、処理業者における電子マニフェストの導入についてご執筆いただきました。

ご多忙の中、記事をお寄せいただいた執筆者の皆様、編集にご協力いただいた皆様、本誌を読んでくださった読者の皆様に心から感謝申し上げます。

(田中)

本誌に関する連絡先：総務部広報室　e-mail:jigyo@jwnet.or.jp

【アンケートへのご協力のお願い】
より充実した誌面作りのために、本誌の記事内容等に関する読者アンケートを当センターホームページ（以下のURL）に掲載しています。本誌に関するご意見・ご要望を是非、お聞かせください。
URL　http://www.jwnet.or.jp/publish/kikansi/index.html

日廃振センター情報(季刊) VOL.16 NO.2　発行日：平成28年7月15日発行　発行人：岡澤和好
発行所：公益財団法人　日本産業廃棄物処理振興センター
〒102-0084　東京都千代田区二番町3番地 麹町スクエア7階
TEL：03-5275-7111　FAX：03-5275-7112　http://www.jwnet.or.jp/
デザイン・印刷　株式会社ぎょうせい